

令和4年度世界農業遺産集住民提案型地域活動支援事業

活動実績

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

申請団体	南部梅林 糸川研究会
団体活動	平成26年に梅の里観梅協会役員が主催でイベントを実施して以来、退会後において「糸川研究会」と名称をつけて、毎年観梅時期（2月）に実施しています。他の施設においても年2回程度、婚活イベントを開催している。年末には反省会をするなどして、スタッフの機運を高める活動を続けている。
事業名	世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」魅力再発見
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中は身だしなみのコツについてのセミナー、プロのメイクアップアーティストから魅力的なアイブロウのコツを学ぶ。 ・午後からは南部梅林の観梅コースを歩きながら、梅農家の語り部(梅システムマイスター)からガイドブックに載らない話を聞きながら交流を図り。その後、老舗梅工房にて工場見学を行う。 ・最後に晩稲区民会館で、印象カードに記入してカップリングを行う。
事業費	¥233,832
補助額	¥200,000
事業実施報告	令和4年10月30日に開催する、男8名、女4名が参加した



令和4年度世界農業遺産集住民提案型地域活動支援事業

活動実績

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

申請団体	紀州田辺観梅協会
団体活動	<p>梅の産地、和歌山県田辺市の「梅」を広くPRするとともに、開花時期に観光客の誘致を図ることを目的とする。</p> <p>○観梅期間中の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観梅期間においては、近隣高校等の外部団体とも協力し、イベントを実施する。 ・地元の梅を利用した梅ジュース作り体験など、地元の「もの」を活用した商品の販売を行う。
事業名	紀州田辺石神梅林 みなべ・田辺の梅システム広報事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・石神忠夫氏(元紀州田辺観梅協会会長)を講師として迎え、紀州石神田辺梅林やみなべ・田辺の梅システムに関する講演を実施する。 ・田辺市立上芳養小学校の児童を当梅林に招待し、観梅期間内にて西牟婁森林組合職員の指導のもとウバメガシのどんぐりの植樹体験を行う。また、このイベントにて植樹したウバメガシは、植樹後、一定程度の大きさとなった時点で紀州石神田辺梅林内の適地に苗を植樹する。
事業費	¥79,830
補助額	¥79,830
事業実施報告	石神忠夫氏による「みなべ・田辺の梅システム」に関する講演を行い、田辺市立上芳養小学校の児童と西牟婁森林組合職員指導のもとウバメガシのどんぐり・苗木の植え替え、ウバメガシの植樹を行った。
   	

令和4年度世界農業遺産集住民提案型地域活動支援事業

活動実績

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

申請団体	Bee Forest Club みなべ百年の森
団体活動	<ul style="list-style-type: none"> ・日本ミツバチの保護活動 ・日本ミツバチの減少の原因究明 ・日本ミツバチ愛好家の交流や情報交換 ・会員の日本ミツバチの箱数管理
事業名	日本ミツバチ用巣箱の製作と設置活動
事業内容	<p>近年世界的にミツバチの個体数が減少しており、国内でも同様に西洋ミツバチや日本ミツバチが極端に減少しているが、その対策が行われないうまま現在に至っている。梅栽培には花粉を交配させるミツバチの存在が欠かすことができず、ミツバチを失うことは梅栽培に大きな支障を及ぼす大問題となる。</p> <p>そこで永年地元で日本ミツバチを育ててきた愛好家達が「Bee Forest Club みなべ百年の森」という団体を立ち上げ、ミツバチ保護活動を続けている。</p> <p>今回で2年目となるが、減少する日本ミツバチを守る対策として団体メンバーが中心となり、地域住民と地元高城中学校生徒達と共に協同で巣箱の製作と設置、日本ミツバチの生息状況観測を行う。</p>
事業費	¥180,633
補助額	¥180,633
事業実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年1月21日、みなべ町や田辺市等の住民30名とみなべ川森林組合の作業所にて巣箱の製作を行った。 ・令和5年2月20日、地元高城中学校の1年生13名と高城中学校内にて巣箱の製作を行った。



令和4年度世界農業遺産集住民提案型地域活動支援事業

活動実績

みなべ・田辺地域世界農業遺産推進協議会

申請団体	秋津川振興会
団体活動	田辺市の紀州備長炭記念公園の設置とともに、紀州備長炭はもとより梅や地元産物の振興やPRのため、平成9年1月に地元関係者を中心とした皆様からの出資金をもとに設立された組織で現在、紀州備長炭記念公園の指定管理者として、発見館や売店・体験施設・バーベキュー施設の管理を行うとともに、紀州備長炭や梅を軸に地元産品の販売促進に取り組んでいる。
事業名	紀州備長炭関係資材の展示による世界農業遺産PR事業
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊田辺駅構内において、昨年展示して好評であった炭琴の設置と紀州備長炭を使った風鈴を地元小学生に作ってもらい展示し、同時掲示する世界農業遺産の紹介ポスターとあわせて「みなべ・田辺の梅システム」のPRを行う。 ・1月中旬から田辺梅林のポスター展示とともにパンフレットの配布をし、観梅PRと誘客を行う。 ・また、今回改めて田辺飲食業組合とも連携し、希望店を取りまとめ、炭オブジェを提供し、世界農業遺産認定地域ということがわかる表示を含めて展示してもらい、PRを推進する。
事業費	¥208,310
補助額	¥200,000
事業実施報告	<ul style="list-style-type: none"> ・紀伊田辺駅構内において、紀州備長炭を使用した展示品（炭琴・風鈴）を設置し、同時掲示する世界農業遺産のポスターとあわせて「みなべ・田辺の梅システム」のPRを行った。 ・田辺飲食業組合の加盟店に紀州備長炭で作ったオブジェや風鈴を飾ってもらい、世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」や備長炭のPRを行った。
  	